

第1回いわての森林づくり県民税事業評価委員会

日 時：平成28年6月17日（金）13：30～17：00

場 所：サンセール盛岡 2階 中ホール

次 第

1 開 会

2 議 題

- (1) 平成27年度いわての森林づくり推進事業の実績について
- (2) 第2期までのいわての森林づくり推進事業の実績について
- (3) 第3期のいわての森林づくり推進事業について
- (4) 平成28年度いわての森林づくり推進事業について
- (5) いわて環境の森整備事業の施工地審査について
- (6) 県民参加の森林づくり促進事業の企画審査について(第2次募集分)
- (7) その他

3 閉 会

第1回いわての森林づくり県民税事業評価委員会 出席者名簿

氏 名	役 職 等	備 考
岩 田 博 子	(公募) 岩田人形教室経営 (NPO 法人輝の和 副理事長)	
【委 員 長】 岡 田 秀 二	富士大学 学長	
小山田 四 一	一戸町立図書館 館長	
國 崎 貴 嗣	岩手大学農学部 (環境科学系) 准教授	欠席
佐 藤 重 昭	森林所有者 (徳清倉庫株式会社 代表取締役)	欠席
佐 藤 誠 司	岩手県商工会議所連合会 盛岡事務局長	
畑 めい子	(公募) 株式会社クレセント 取締役副社長	欠席
吉 田 敏 恵	岩手県消費者団体連絡協議会 常任幹事	欠席
吉 野 英 岐	岩手県立大学総合政策学部 学部長	
若 生 和 江	環境アドバイザー	

(五十音順)

【岩 手 県】

役 職 等	氏 名	備 考
農林水産部 林務担当技監	阿 部 義 樹	
林業振興課 総括課長	佐々木 隆	
振興担当課長	西 島 洋 一	
主任主査	高 芝 俊 雄	
主任主査	木戸口 佐 織	
主 査	三 上 昭 典	
森林整備課 主任主査	菊 地 明 子	
盛岡広域振興局林務部 主任主査	土 橋 浩	
盛岡広域振興局林務部 主 査	岩 田 賢 一	
県南広域振興局林務部 主 査	赤 座 直 輝	
花巻農林振興センター 主任行政専門員	照 井 重 光	
遠野農林振興センター 主任主査	佐 藤 一 哉	
一関農林振興センター 主 査	谷 口 英 理	
沿岸広域振興局農林部 主任主査	松 田 悟	
岩泉林務出張所 上席林業普及指導員	菅 原 誠 司	
二戸農林振興センター 主 任	高 坂 達 也	
林業技術センター 主任専門研究員	新 井 隆 介	

平成 27 年度いわての森林づくり推進事業の実績について

1 事業費の状況

(1) 平成 27 年度いわての森林づくり基金積立金に対する積立金（基金積立）

ア いわての森林づくり県民税（市町村徴収取扱費を控除）

707,695 千円

イ 基金運用益

987 千円

※ 基金運用益は、いわての森林づくり基金積立金を、岩手県資金管理運用方針に基づき会計管理者が他の基金とともに、一元的に資金運用した結果得られた預金利子

(2) 平成 27 年度いわての森林づくり推進事業実績

○ 事業費（基金取崩）

（単位：千円）

事業	当初予算額	決算見込額
ア いわて環境の森整備事業	821,850	427,021
イ 県民参加の森林づくり促進事業	23,460	18,672
ウ いわて森のゼミナール推進事業	4,613	4,581
エ いわての森林づくり普及啓発事業	5,414	5,413
オ 事業評価委員会運営費	1,827	1,262
カ アンケート調査実施費	3,393	2,342
計	860,557	459,291

○ 事業実績

事業	実績
ア いわて環境の森整備事業	確保面積 934ha (目標面積 1,600ha)
イ 県民参加の森林づくり促進事業	事業実施団体 41団体・6,010名 【うち被災地枠】 3団体・225名
ウ いわて森のゼミナール推進事業	森林学習会 24校・573名 森の実践ゼミナール 3地域・51名
エ いわての森林づくり普及啓発事業	地域説明会やマスメディアによる普及啓発等
オ 事業評価委員会運営費	7回開催（現場調査1回含む）
カ アンケート調査実施費	調査対象 3,500通・回答数 1,994通・回収率 57.0%

第 2 期までのいわての森林づくり推進事業の実績について

1 いわての森林づくり推進事業

(1) いわての森林づくり基金の状況

平成 18 年度以降、個人からは年間 1 千円、法人からは、資本金の額に応じて年間 2 千円～8 万円を県民税に上乗せして徴収しているもの。

(単位：千円)

区 分		H18～27 年度の合計
いわての森林づくり県民税	A	7,209,145
徴収取扱費	B	371,328
基金積立金 (税収分)	C=A-B	6,837,817
基金運用益	D	4,660
寄付金	E	18,875
基金積立金	F=C+D+E	6,861,352
いわての森林づくり推進事業費	G	5,742,081
基金残高	H=F-G	1,119,271

(2) 森林づくり県民税を財源とした事業の実績

年間約 7 億円の税収を財源に、混交林誘導伐、住民団体等の活動支援、普及啓発等を実施。

(単位：千円)

事業名	H18～27 年度の事業実績	執行額
いわて環境の森整備事業	確保面積 13,845ha (目標面積 15,500ha)	5,536,817
県民参加の森林づくり促進事業	事業実施団体 256 団体・48,426 名 【うち被災地枠】20 団体・147 名	123,275
いわて森のゼミナール推進事業	学習の森プラン策定 7 校 教職員セミナー 2 回・41 名 森林学習会 159 回・4,773 名 森のゼミナール 7 回・317 名 森の実践ゼミナール 20 地域・463 名 森林ボランティア入門講座 5 地域・265 名	37,158
いわての森林づくり普及啓発事業	イベントやマスメディアによる普及啓発	24,190
事業評価委員会運営費	64 回開催	20,641
計		5,742,081

2 いわて環境の森整備事業

＜取組の成果＞

- 1 平成18～27年度の計画面積15,500haに対し、事業対象森林確保面積は13,847ha(達成率89.3%)
- 2 森林組合等を主体とする地域提案型事業(補助)が定着(H23以降のシェア100%)

(1) 確保面積

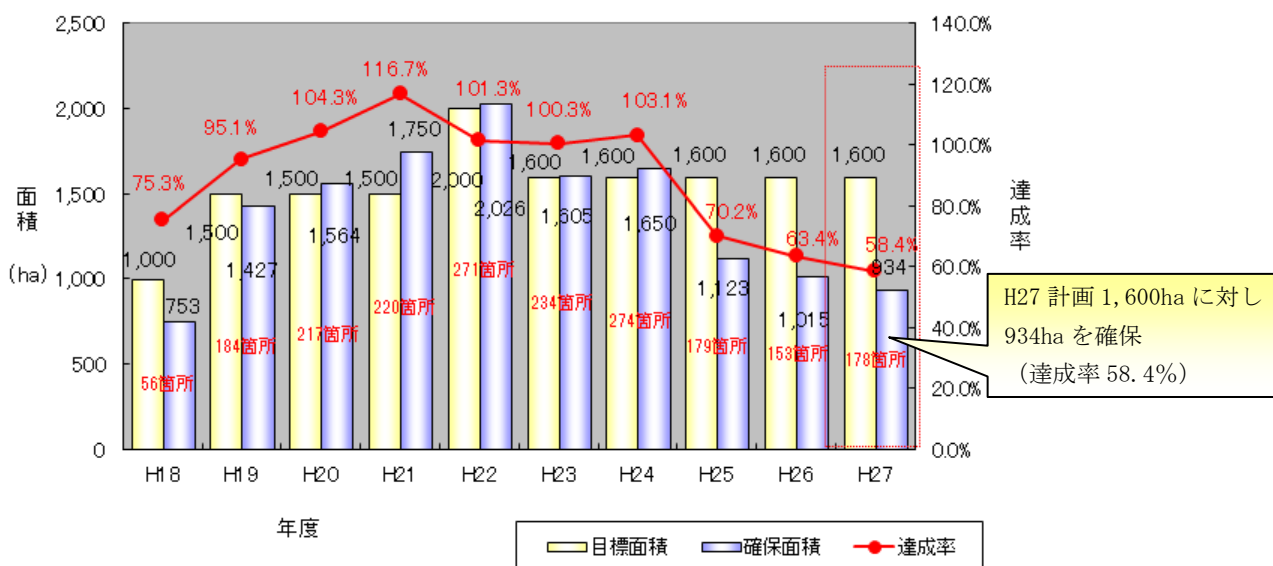
ア 平成27年度計画面積1,600haに対し、事業対象森林確保面積は934ha(達成率58.4%)

(図1参照)

イ 事業開始から10年間で、全体計画面積13,847haを確保(図2参照)

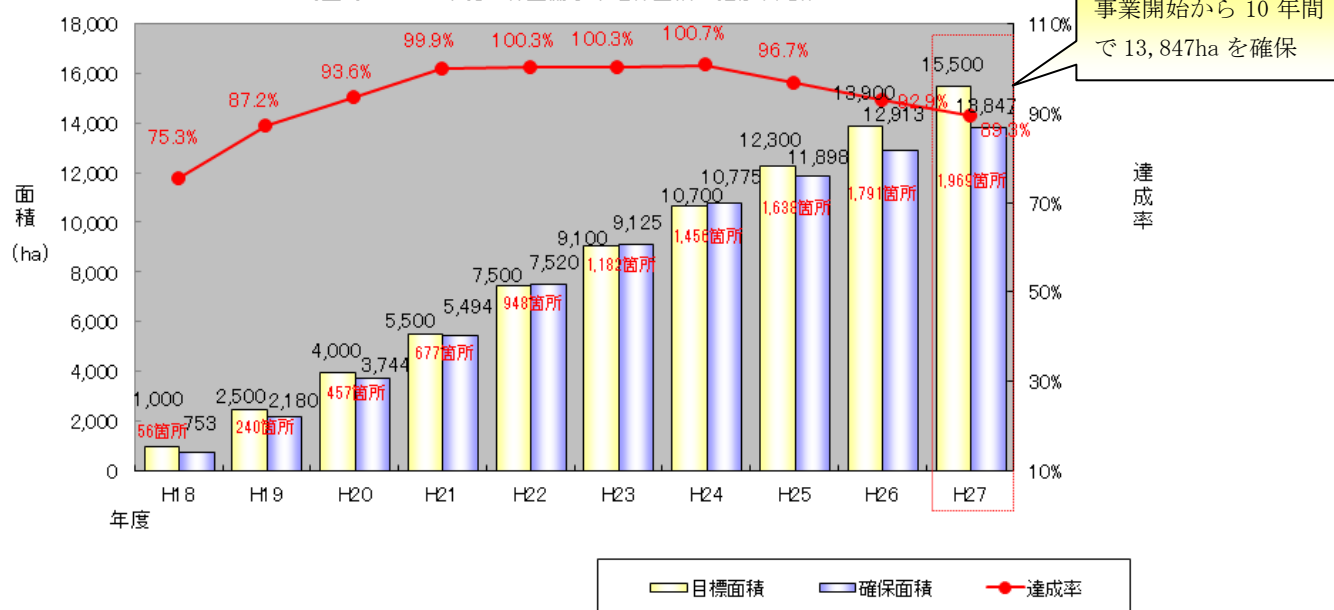
ウ 事業対象森林は、県内全域にわたり確保(別添資料参照)

〔図1〕 いわて環境の森整備事業確保面積の推移



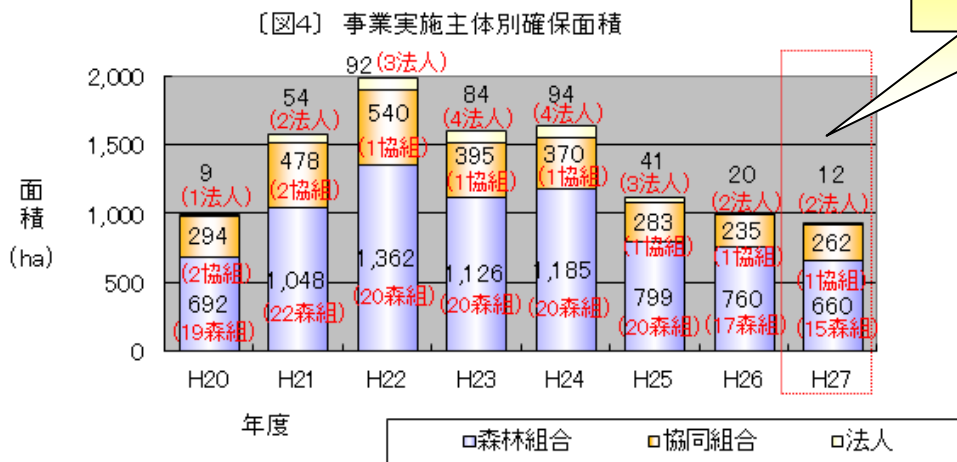
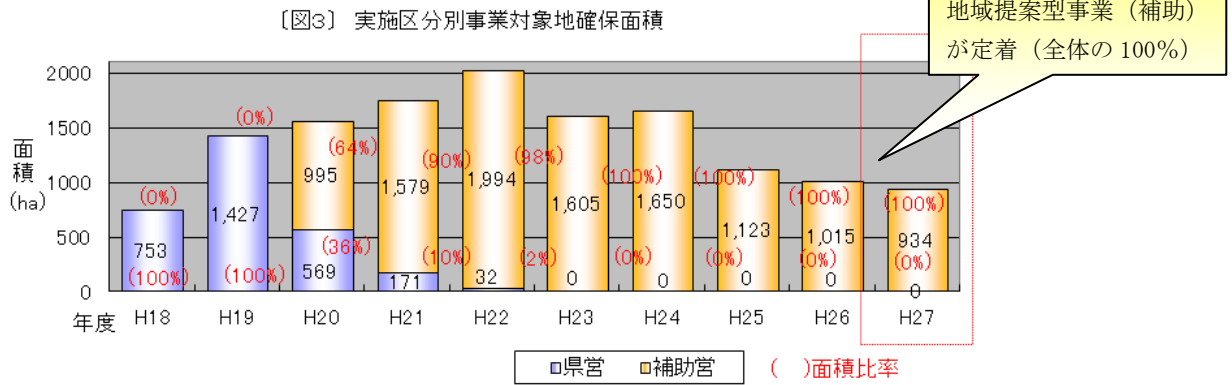
平成25年度の目標達成率が70.2%、平成26年度の目標達成率が63.4%及び平成27年度の目標達成率が58.4%であった理由は、本格化した復興の工事における道路や高台移転地の森林伐採作業に人手がとられたため。

〔図2〕 いわて環境の森整備事業確保面積の推移(累計)



(2) 事業実施主体等

- ア 森林組合等を主体とする地域提案型事業（補助）が定着（図3参照）
- イ 森林組合等の18事業体により事業実施（図4参照）



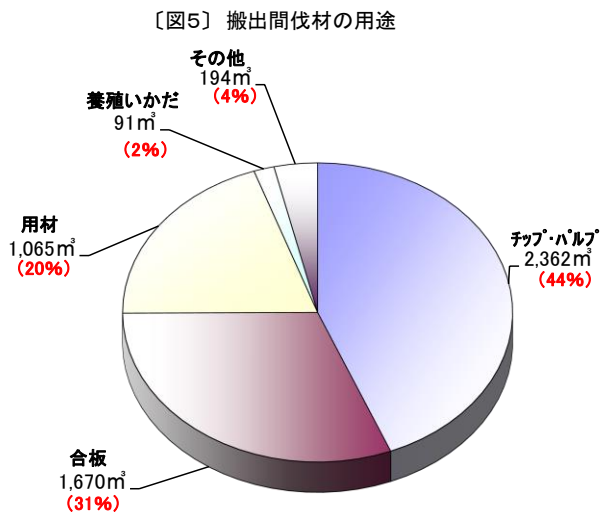
(3) 間伐材有効利用モデル

平成23年から24年度まで実施した間伐材を有効利用するモデル的な取組みについて

- ア 間伐材を有効利用するモデル的な取組みを14箇所で開催し、5,382 m³の間伐材を搬出利用〔表1〕 ※25,26年度の実施箇所はなし
- イ 用途は、チップ44%、合板31%、用材20%、養殖いかだ2%、その他4%〔図5〕

〔表1〕 間伐材有効利用モデル実施状況

年度		H23年度	H24年度	計
整備実績	箇所数(箇所)	10	4	14
	整備面積(ha)	113.80	18.44	132.24
	搬出面積(ha)	55.21	18.44	73.65
	立木材積(m ³)	22,154	10,628	32,782
	伐採材積(m ³)	9,326	4,491	13,817
	利用材積(m ³)	4,771	1,624	6,395
	利用率(%)	51	36	46
搬出実績(m ³)		3,904	1,478	5,382



3 県民参加の森林づくり促進事業

《取組の成果》

- 1 平成 27 年度は、41 団体から企画書の応募があり、全団体の企画を採択した。
(通常枠 38 団体、被災地枠 3 団体)
- 2 森林整備、森林環境学習事業等への参加者は、延べ 6,010 人であった。
- 3 被災地枠事業は、沿岸の 2 市町村において、地元産材を利用して製作したゴミステーションなどが整備された。

(1) 企画状況

平成 27 年度は、41 団体から応募があり、41 団体を採択。
(通常 38 団体、被災地 3 団体)

募集区分	募集期間	応募 件数	採択 件数	審 査
第 1 次 (通常枠・被災地枠)	H27. 2. 9～ 3. 10	41	41	H26 年度第 7 回評価委員会
(第 2 次募集は実施せず)				
計		41	41	

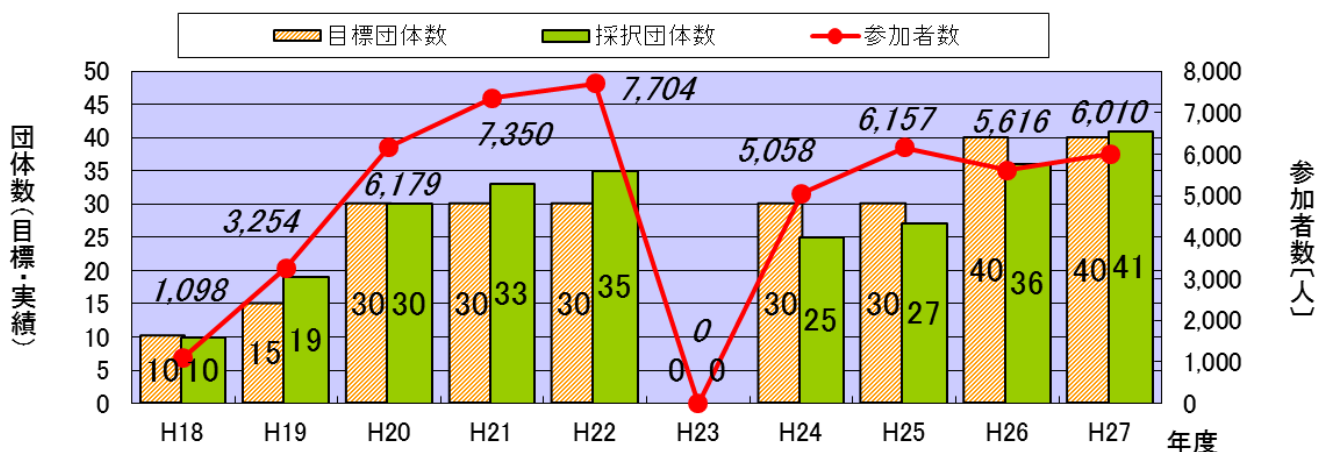
(2) 採択団体数

採択団体数は、これまで各年度の目標数以上に採択されてきたが、平成 24 年度に初めて減少した。しかし平成 25 年度からは増加に転じ、平成 27 年度は前年度より 5 団体増加の 41 団体となり目標の 40 団体を上回った。

(3) 参加者数

目標 7,000 人に対し 6,010 人であったが、前年度より 394 人増加した。

(表 1) 採択団体数、参加者数等の推移



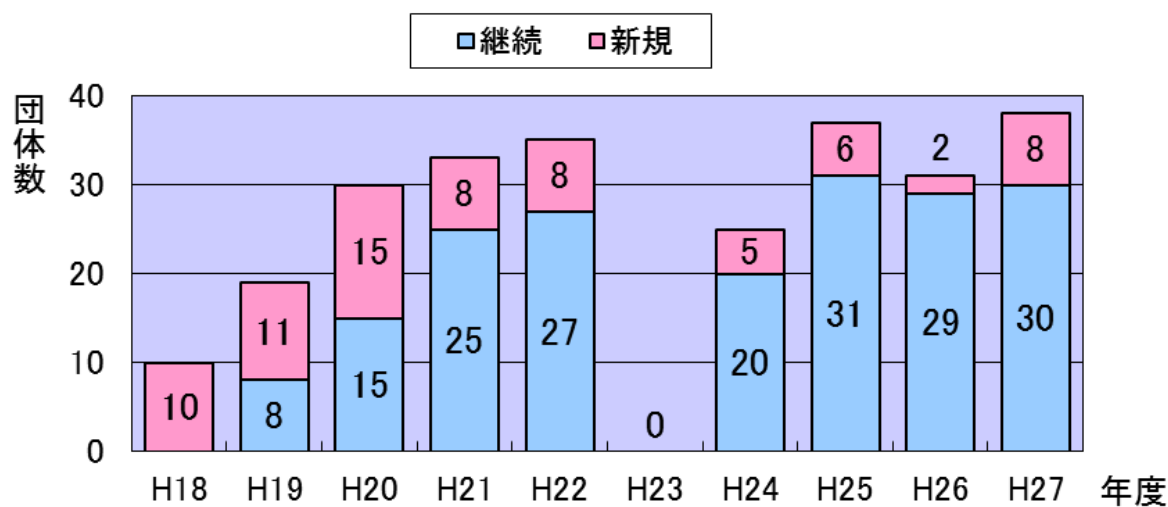
(4) 新規・継続団体の推移

通常枠 38 団体のうち新規団体は 8 団体となり、前年度の 2 団体から大幅に増加した。継続団体は 30 団体であった。

(5) 被災地枠の推移

被災地枠は、前年度 5 団体から減少し 3 団体となった。

(表 2) 通常枠採択団体の継続・新規の別



(表 3) 被災地枠

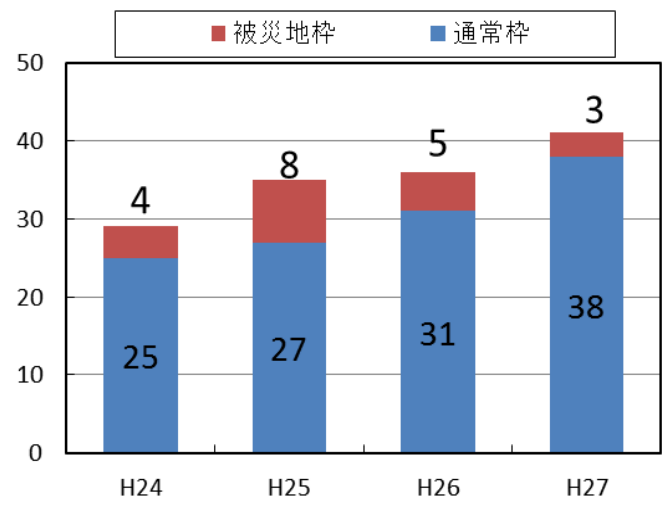
(6) 採択団体の活動区分

間伐などによる森林をつくる活動に加え、平成 20 年度からは森林環境学習活動などの、森林を学び活かす活動を補助対象活動に加えた。

また、平成 24 年度からは、被災地枠を新設するなど、多様な活動を展開している。

なお、平成 27 年度通常枠での森林をつくる活動団体

は 12 団体、森林を学び活かす活動団体は 26 団体、被災地枠は 3 団体であった。



(表 4) 採択団体の活動区分

(単位：団体)

区分	森林をつくる活動			森林を学び活かす活動(H20～)			被災地枠 (H24～)	計
	森林整備	森林所有者への啓発	担い手育成	県民理解促進		県産材利用		
				森林学習	木工体験			
H18	10							10
H19	19							19
H20	25	1	—	3	1	—		30
H21	20	—	1	8	3	1		33
H22	16	—	1	14	3	1		35
H23								0
H24	10	0	1	11	2	1	4	29
H25	7	1	1	13	4	1	8	35
H26	8	1	2	15	5	0	5	36
H27	7	1	4	23	3	0	3	41

4 いわて森のゼミナール推進事業

《取組の成果》

県民の方々に広く森林・林業の普及啓発を図るため、

- 1 児童・生徒 4,773 名を対象に、森林インストラクター等の指導者による森林学習会を 159 回実施。
- 2 一般県民 1,086 名を対象に、地域住民の自主的な森林づくり活動（森林環境学習プラン策定）の取組支援や指導者研修会を実施。

(1) 学習の森プラン策定（H20～22：7校で策定）

学校林を保有している小学校及び中学校において、学校林管理のあり方、森林環境学習での活用方法等を取りまとめた

モデルプランを策定。プランは学校林保有校へ情報提供。

(2) 教職員等セミナー（H20～21：2回開催 41名参加）

学校における学習カリキュラムへの導入を図るため、教職員等を対象とした森林環境学習に関する講義・実習を実施。

(3) 森林学習会（H20～22、H24～27：159回開催、計4,773名参加）

県内の教育事務所を通じて募集した小中学校において、森林インストラクター等による樹木観察などの森林環境学習を実施。

(4) 森のゼミナール・森の実践ゼミナール（指導者研修会2回、20地域でプラン策定延べ463名参加）

地域住民の自主的な森林づくり活動などの取組が県内各地で活発に行われるよう、指導者研修会を実施し、地域の森林環境学習プランを策定するなど活動を支援。

(5) 森林ボランティア入門講座（5地域で開催 計265名参加）

森林整備に関心を有する方々を対象に、森林ボランティアに必要な基礎知識等の座学と、間伐作業の初歩を学ぶ実習講座を開催。



【森林学習会】



【指導者研修会】

5 いわたの森林づくり普及啓発

《取組の成果》

多くの県民へ制度の浸透を図るため、テレビCMやラジオCMを140回放送したほか、新聞広告を掲載するなど、さまざまなメディアを通じ広報を実施した。また、地域説明会として「いわての森林づくりタウンミーティング」を県内4会場で開催することとし、新聞広告やテレビCMなどにより広報したところ、合計約140人の参加があり、その模様はテレビニュースや新聞記事に取り上げられ、制度周知に貢献したと考える。

◆ 普及啓発の取組

(1) メディアを通じた広報

- ・ テレビCM地元民放4局による15秒スポットを165回放送。テレビ番組出演（情報発信コーナーにおけるタウンミーティング告知）インフォーマーシャル（長めのCMのようなもの）150秒スポットを4回放送。
- ・ ラジオCM地元民放2局による15秒スポットを80回放送。
- ・ 地元紙への新聞広告掲載。記事下広告、全4段カラーを2回掲載。
- ・ 県政テレビ番組におけるインフォメーション1回放送。



【新聞広告：H28.127.（岩手日報）】



【インフォーマーシャル：H27.7.23・30（TVI）】

(2) 「いわての森林づくりタウンミーティング」開催

- ・ 平成27年8月3日～6日の4日間、県内4会場（遠野、宮古、二戸、奥州）で開催。参加者は合計約140人。

(3) 県ホームページによる広報

- ・ いわたの森林づくり県民税のホームページにより、県民税の役割や仕組み等の説明を行うとともに、事業実施状況及び実績等を紹介。



【タウンミーティングチラシ】

「平成28年度いわての森林づくり推進事業」の概要

平成27年度の取組状況 860,557千円（H27当初予算）	平成28年度の取組方針 720,608千円（H28当初予算）	課題、対策等
<p>いわて環境の森整備事業 821,850千円</p> <p>公益上重要で緊急に整備が必要な人工林について混交誘導伐を実施〔2,022ha〕 【間伐材有効利用】 間伐材を利用する場合、搬出経費の一部を助成〔10箇所〕 【松くい虫感染源クリーンアップ】 松くい虫被害先端地域においては、被害木及び感染源の除去を実施〔90箇所〕</p>	<p>いわて環境の森整備事業 676,600千円</p> <p>公益上重要で緊急に整備が必要な人工林について混交誘導伐を実施〔1,500ha〕 ・道路からの距離による費用及び森林所有者調査費用の支援(H28新規) ・間伐材有効利用 間伐材を利用する場合、搬出経費の一部を助成〔2箇所〕 ・松くい虫感染源クリーンアップ〔40箇所〕 松くい虫被害先端地域においては、被害木及び感染源の除去を実施 【ナラ林健全化促進(H28新規)】〔8,000㎡〕 公益的機能が高い高齢のナラ林を被害を受けない若い森林に更新を支援 【アカマツ林の広葉樹林化(H28新規)】〔1,000㎡〕 主要道路及び公共施設等の周辺で、倒木被害の予防、景観保全等を図るため、アカマツ枯損木等を伐採し、広葉樹林への天然更新を支援 【森林環境を保全する植栽(H28新規)】〔5ha〕 森林への移行が困難な箇所の環境を保全する植栽活動について支援</p>	<p>計画面積確保に向けた取組強化</p> <p>新規取組の周知と確実な実施</p>
<p>県民参加の森林づくり促進事業 23,460千円</p> <p>地域住民やNPOなどが取り組む、森林整備活動や森林ボランティア育成などの森林づくり活動や、森林環境学習や県産材活用による森を学び活かす活動を支援〔35団体、参加人数7,000人〕 ・森林資源を活かす活動〔3団体〕 【被災地枠】 市町村が、被災地域の住民と協働して、森林整備活動や森林資源活用の取組を支援 ・森林資源を被災地支援に活かす活動〔7団体〕</p>	<p>県民参加の森林づくり促進事業 31,985千円</p> <p>地域住民やNPOなどが取り組む、森林整備活動や森林ボランティア育成などの森林づくり活動及び、森林環境学習や県産材活用による森を学び活かす活動並びに、市町村等が取り組む、県産木製品整備による森林資源を活かす活動を支援〔34団体、参加人数7,000人〕 ・森林をつくる活動、森を学び活かす活動 ・森林の手入れを行う多様な人材を育成する活動 ・森林資源を活かす活動 森林公園などの公共的施設への県産材利用設備の導入支援(H28新規) 【被災地枠】 市町村が、被災地域の住民と協働して、森林整備活動、森林資源活用の取組及び森林資源を被災地支援に活かす活動を支援〔5団体〕</p>	<p>新規に活動を行う団体の掘り起し</p> <p>被災地支援を継続して実施</p> <p>新規取組の周知と実施</p>
<p>いわて森のゼミナール推進事業 4,613千円</p> <p>児童・生徒を対象とした森林学習を実施するほか、県民を対象とした森林講座や森林ボランティア育成講座等を開催 ・森林学習会〔23校〕 ・森の実践ゼミナール〔3地区〕</p>	<p>いわて森のゼミナール推進事業 4,516千円</p> <p>児童・生徒を対象とした森林学習を実施するほか、県民を対象とした森林講座や森林ボランティア育成講座等を開催 ・森林学習会〔23校〕 森の実践ゼミナール〔3地区〕</p>	<p>森林学習や森林ボランティア育成講座を継続して実施</p>
<p>いわての森林づくり普及啓発事業 5,414千円</p> <p>県民の県民税に対する認知度向上のため、メディアを活用した情報発信や地域説明会を開催</p>	<p>いわての森林づくり普及啓発事業 5,512千円</p> <p>いわての森林づくり県民税の趣旨等について情報発信を行い、県民の関心を高めるとともに、森林環境保全の重要性に関する意識の醸成を図る ・テレビ・ラジオCM、新聞広告を活用した情報発信 ・パンフレットによるいわての森林づくり県民税制度などの周知 ・強度間伐の施工森林に設置する看板の製作</p>	<p>県民税の認知度を向上し、県民理解を深める</p>
<p>事業評価委員会運営費 1,827千円</p> <p>いわての森林づくり推進事業の審査や評価、検証を行う事業評価委員会を開催〔7回〕</p>	<p>事業評価委員会運営費 1,995千円</p> <p>いわての森林づくり推進事業の審査や評価、検証を行う評価委員会を開催〔7回〕</p>	<p>県民税事業の審査や評価を実施</p>
<p>アンケート調査実施費 3,393千円</p> <p>県民税の今後のあり方に向けた県民アンケートの実施 3,500人</p>	<p>県民アンケートの実施(7/22~8/12)</p>	

平成 28 年度いわての森林づくり推進事業について

いわての森林づくり県民税収額 740,000 千円
(個人：1,000 円、法人：2,000 円～80,000 円)



基金積立金
709,201 千円

1 事業費

(単位：千円)

区 分	H27 当初予算 A	H28 当初予算 B	差引 B-A
(1) いわて環境の森整備事業	821,850	676,600	△145,250
(2) 県民参加の森林づくり促進事業	23,460	31,985	8,505
(3) いわての森のゼミナール推進事業	4,613	4,516	△97
(4) いわての森林づくり普及啓発事業	5,414	5,512	98
(5) 事業評価委員会運営	1,827	1,995	168
(6) アンケート調査実施費	3,393	—	△3,393
合 計	860,557	720,608	162,098
いわての森林づくり基金積立金	714,942	709,201	△5,741

2 事業内容

事業内容	事業量
(1) いわて環境の森整備事業	
公益上重要で緊急に整備が必要な人工林について混交誘導伐を実施 併せて、間伐材有効利用の取組を実施	混交林誘導伐 1,830ha (うち、間伐材有効利用 10 箇所) 松くい虫感染源クリーンアップ 40 箇所
公益的機能が高い高齢のナラ林を被害を受けない若い森林への更新を支援	ナラ類等広葉樹の伐採 8,000 m ³
主要道路及び公共施設等の周辺で、倒木被害の予防、景観保全等を図るため、アカマツ枯損木等を伐採し、広葉樹林への天然更新を支援	アカマツ伐採、集積 1,000 m ³
森林への移行が困難な箇所の環境を保全する植栽活動について支援	植栽 5 ha
(2) 県民参加の森林づくり促進事業	
地域住民やNPOなどが取り組む、森林整備活動や森林ボランティア育成などの森林づくり活動や、森林環境学習や県産材活用による森を学び活かす活動を支援 このうち、被災地枠として、市町村やボランティア団体などが、被災地域の住民と協働して、森林整備活動や森林資源活用の取組を支援	事業実施 35 団体 参加人数 7,000 人 森林資源を活かす活動 3 団体 (うち、被災地枠 7 団体)
(3) いわての森のゼミナール推進事業	
児童生徒をはじめ、広く県民を対象に、森林・林業を学習する機会を提供	森林学習会 (実践指導) 23 校 森の実践ゼミナール (地域活動支援) 3 地区
(4) いわての森林づくり普及啓発事業	
森林・林業の役割や重要性、県民税の趣旨や取組内容・効果等を県民に対して情報発信する地域説明会開催等	地域説明会 5 地区で開催
(5) 事業評価委員会運営	
いわての森林づくり推進事業の審査や評価、検証を行う事業評価委員会を開催	事業評価委員会 7 回開催

平成 28 年度いわて環境の森整備事業 施工地選定審査基準(審査)

いわて環境の森整備事業の施工地選定審査に当たっては、下表に掲げる基準を満たしているものを適とする。

審査項目		審査基準
森 林 に 関 す る 事 項	事業対象森林	① 私有林であること。
		② 人工林であること。
		③ 公益林であること。 ア 水源地域等の上流域の森林 イ 野生動植物生育の場として重要な森林 ウ 自然林に戻すことによって、景観的な多様性の維持・向上を図るべき森林 エ 上記に準ずる森林
		④ 保安林である場合は、治山事業等で実施することが困難であること。
採択基準	⑤ 対象樹種は、原則として人工林であるスギ、カラマツ、アカマツ等の針葉樹であること。 ただし、アカマツ天然生林においても、地域において保全上重要な森林については、対象とするものとする。	
	⑥ 対象齢級は、原則として4から10齢級であること。 ただし、3齢級以下及び11齢級以上であっても、地域において保全上重要な森林で、本事業の計画に加えるべき森林については、対象齢級として取扱うものであること。	
	⑦ 1 施工地の面積は、0.3ヘクタール以上であって、原則として1ヘクタール以上の団地であること。 ただし、団地の考え方（団地性の判断）については、各施工地の相互の間隔が概ね10キロメートル以内の範囲であるものとする。（概ね半径10キロメートルの円内にすべての施工地が含まれること。）	
森林所有者に関する事項	⑧ 協定書の締結に同意していること。 (現時点では口頭による確認)	

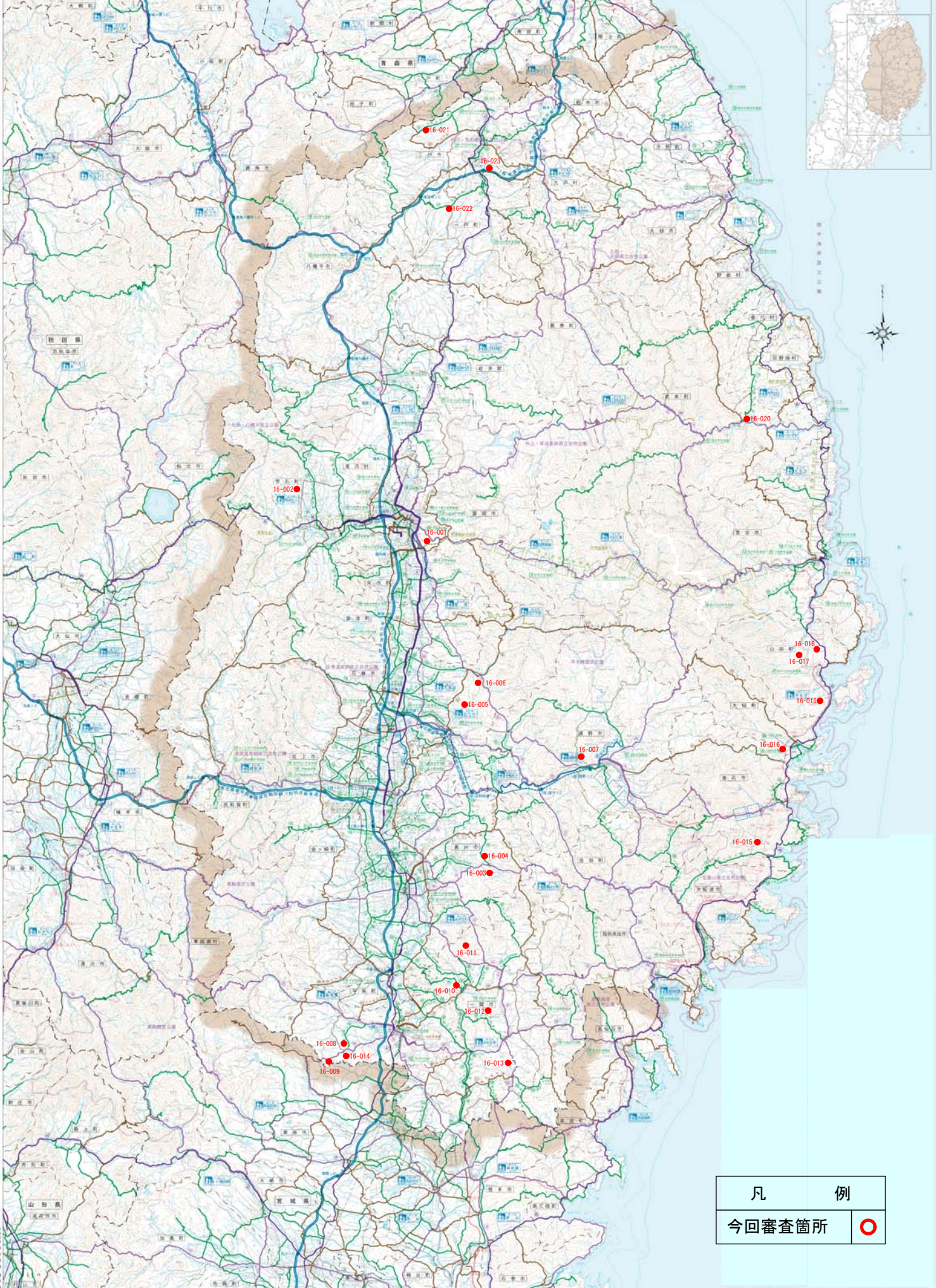
平成28年度いわて環境の森整備事業施工予定地一覧表(補助)

連番	受付番号		市町村	大字	字	樹種	面積 (ha)	林齢 (年生)	申請者	特記事項
001	16	001	盛岡市	川目	第9地割 地内	スギ	1.86	48	岩手県森林整備協同組合	
002	16	002	雫石町	西根	田茂木ほか 地内	スギ	5.51	32～50	岩手中央森林組合	
003	16	003	奥州市	江刺区伊手	千刈田ほか 地内	スギ	1.80	16～48	岩手県森林整備協同組合	
004	16	004	奥州市	江刺区伊手	下浅倉ほか 地内	スギ、ヒバ	1.88	20～48	岩手県森林整備協同組合	
005	16	005	花巻市	東和町	北川目6区ほか 地内	スギ	4.49	20～36	岩手県森林整備協同組合	
006	16	006	花巻市	大迫町外川目	第34地割ほか 地内	スギ、ヒノキ	8.45	29～47	花巻地方森林組合	
007	16	007	遠野市	綾織町	鴉崎2地割ほか 地内	スギ	10.05	30～42	遠野地方森林組合	水源涵養保安林 1.58ha
008	16	008	一関市	萩荘	外山ほか 地内	スギ	11.36	34～64	一関地方森林組合	スギ 57～64年生 1.21ha
009	16	009	一関市	萩荘	平場ほか 地内	スギ	5.44	35～56	一関地方森林組合	スギ 56年生 0.55ha
010	16	010	一関市	東山町長坂	西本町ほか 地内	スギ	1.88	42～47	一関地方森林組合	
011	16	011	一関市	東山町田河津	夏山 地内	スギ	4.75	49～57	一関地方森林組合	スギ 57年生 0.45ha
012	16	012	一関市	千厩町磐清水	上向ほか 地内	スギ、ヒノキ	7.60	16～49	一関地方森林組合	
013	16	013	一関市	藤沢町増沢	松沢ほか 地内	ヒノキ	3.05	16～29	一関地方森林組合	
014	16	014	一関市	萩荘	南沢 地内	スギ	9.28	20～58	一関地方森林組合	スギ 58年生 0.35ha 土砂崩壊防備保安林 0.51ha
015	16	015	釜石市	唐丹町	山谷 地内	スギ、ヒノキ	3.52	19～46	釜石地方森林組合	
016	16	016	大槌町	小槌	第26地割 地内	スギ	2.21	45,49	釜石地方森林組合	
017	16	017	山田町	山田	第20地割 地内	スギ、アカマツ	4.76	29～47	宮古地方森林組合	
018	16	018	山田町	豊間根	第8地割ほか 地内	スギ、アカマツ、ヒノキ	5.38	31～48	宮古地方森林組合	
019	16	019	山田町	織笠	第5地割ほか 地内	スギ、アカマツ	6.83	18～39	宮古地方森林組合	
020	16	020	岩泉町	岩泉	横道ほか 地内	スギ、ヒノキ	2.01	17,39	岩手県森林整備協同組合	

平成28年度いわて環境の森整備事業施工予定地一覧表(補助)

連番	受付番号		市町村	大字	字	樹種	面積 (ha)	林齢 (年生)	申請者	特記事項
021	16	021	二戸市	上斗米	金田一川 地内	スギ	5.33	16~37	二戸地方森林組合	
022	16	022	一戸町	出ル町	泉沢ほか 地内	スギ、アカマツ	6.49	27~34	二戸地方森林組合	
023	16	023	一戸町	檜山	高平 地内	スギ、カラマツ	1.45	25	二戸地方森林組合	
a	今回計		23施工地				115.38			
b	平成28年度既承認面積						0			
c	a + b						115.38			

いわて環境の森整備事業施工位置図（平成28年度）



凡 例	
今回審査箇所	○

平成28年度 県民参加の森林づくり促進事業【第2次募集分】
第1回事業評価委員会 審査資料（応募団体一覧表）

平成28年6月17日
第1回いわての森林づくり県民税
事業評価委員会 資料No.4

番号	市町村	事業内容	回数	応募団体名	事業目的	活動概要	補助申請額	主な用途	備考
1	滝沢市	森林環境整備等	3	一般社団法人 東北地域環境計画研究会	列状間伐によるイヌワシ等の生息環境整備と併せた間伐材の利用	間伐等の森林環境整備	477,000	委託料(列状間伐)	
2	一関市	〃	7	山目地域の里山を守る会	植栽林の整備等及び地域住民の森林環境学習の場を整備	植栽林の下刈り、補植等	371,760	賃借料(機材リース等)	
3	紫波町	担い手育成	1	NPO法人 紫波みらい研究所	紫波町民の資産である里山自然生活文化を未来へ継承	里山づくり体験、担い手育成、森林環境学習	933,169	報償費(講師)	
4	盛岡市	森林環境学習等	7	盛岡市	市民参加による植樹活動等による森林環境保全意識の向上	植樹活動及び森林環境学習等	1,000,000	原材料費(苗木)	
5	〃	〃	6	なのりの里 生き生きプロジェクト	地域住民への森林環境学習による森林整備の必要性の理解促進	森林整備、木工、炭焼及び植菌等の体験学習	544,800	原材料費(苗木等)	
6	〃	〃	1	いわて林業女子会	イベント等を通じた森林林業に関する県民理解向上	自然観察会、森林資源勉強会等	368,715	委託料(啓発資料制作)	
7	紫波町	〃	新	特定非営利活動法人 紫波ing	森林や木材利用を中心とした循環型社会形成の機運醸成	森林資源勉強会等	239,000	役務費(地元紙掲載)	
8	奥州市	〃	1	ノームの会	地域の森の整備を通じた森林環境学習の場を整備等	森林学習会、森林整備等	288,400	需用費(整備機材等)	
9	久慈市	〃	3	久慈地方木材青壮年協議会	木工工作を通じた森林資源の循環等について学習	森林環境学習、木工工作活動	271,090	原材料費(工作キット)	
10	二戸市	〃	3	馬淵川上流流域森林・林業活性化センター	学校教育課程における森林教育による森林環境保全意識の高揚	森林環境学習	249,000	報償費(講師)	
11	釜石市	被災地梓県産材利用	新	釜石市	集落センター案内板設置に伴う森林県民税事業の周知	案内板製作	62,000	原材料費(製作資材)	